

生産性向上技術 WG

1. リサイクル材の有効利用

(1) 溶融スラグ骨材の規格 (資料-1)

住友大阪セメント(株)セメント・コンクリート研究所 グループリーダー 鈴木康範様

(2) リサイクル材の有効利用について

溶融スラグ骨材, 再生骨材
石炭灰, 高炉スラグ微粉末
エコセメントなど

2. 新 JIS を考慮した工場製品のコンクリート強度基準材齢への対応

現状：一般工場製品の強度は材齢 14 日の圧縮強度試験値を基準。(資料-2)
材齢 14 日以前の出荷は不可。製造・出荷・在庫等に弊害有り。

各規準におけるコンクリート強度の考え方

	2002 年 コンクリート標準示方書	新 JIS コンクリート製品
規定	工場製品のコンクリート強度の基準材齢 ■ 一般工場製品 : 材齢 14 日 ■ 特殊促進養生製品 : 材齢 14 日以前 ■ 非促進養生製品 : 材齢 28 日	■ 所定の養生完了時に製品ごとの圧縮強度規定値を満足すること ■ 材齢の規定はない
備考	・所定材齢以内の出荷では, 出荷材齢の圧縮強度を基準とすることも可(解説より)。	・所定の養生(早期出荷の場合)促進養生 + 出荷までの期間

対応：現状の圧縮強度基準材齢の変更では技術資料の提示が必要となる。

1) 配合の検討

- ・ 出荷材齢ごとの配合
- ・ 早期出荷を基本とした配合

2) 配合変更に伴う性能評価 (ひび割れ, 乾燥収縮, 耐久性など)

- ・ 首都大学東京 國府教授, 宇治教授による指導
- ・ 日本コンクリート技術(株)による技術資料の作成支援

以上